

ボローニャ大学協定留学（交換留学）月例報告書（2023 年 3 月）

文化政策学部 国際文化学科 4 年 外川内瑞季

先月の報告書では、音楽史の授業について紹介したが、今月は他の授業についてお伝えする。今月は、特に勉強と自分自身に向き合った一ヶ月だった。

現在履修している授業の一つに、「Sistema politico italiano（イタリアの政治システム）」という授業がある。最近のイタリア総選挙や、卒業研究で学んだイタリアの政党についてもっと知りたいと思い、興味を抱いた。

この授業が始まったのは 2 月下旬からだったが、最初の一週間の授業を受けて、私は打ちのめされていた。2 回目の授業から本格的に講義が始まったが、イタリア統一の時代から話が始まり、専門用語が頻出し、教授のイタリア語が全く聞き取れず、何の話題について話しているのか、本当に分からなかったからである。

週に 3 回、一コマ 2 時間の授業は、私にとっては速すぎるスピードで進んでいった。理解もしていない、できていないこの授業に、時間を費やす意味が果たしてあるのか、と思い、はじめは履修をやめようという気持ちが強かった。



授業が行われている、政治学部の校舎「ヘルコラニ宮」。

しかし、同時期に受けていた他の授業はとても面白かったため、「なぜこの授業は面白くないのだろう」と考えた。そして、「分からないから」という結論が出た。根本的すぎることだが、分からないから楽しくないし前向きに学ぶことができない。ならば、勉強すれば良いのだ、と気づいた。初歩的すぎて呆れられると思うが、私にとっては、この気づきがとても重要だった。

その後、まずは教科書を手に入れて読んで、授業資料を見直して、予習をして、勉強した。勉強したうえで内容に興味を持てなかったらやめよう、と考えていたが、やはり、内容はとても面白く、関心のあることだったため、履修を続ける決心をした。

そのうえで授業に臨むと、知っている言葉が出てきて、何を話しているのか掴めるようになり、以前よりは前向きに取り組めるようになった。授

業で出会った友達もできたり、教授に顔を覚えてもらったりして、分からないことは教えていただいた。何よりも印象に残っているのは、他の授業で学んだ知識とつなげて考えられたことだ。EUの授業（次回以降の報告書でお伝えします）で学んだことと、全く同じ内容が出てきたときは、横断的に学べたこと、それに気づくことができた自分が嬉しかった。

【中間テスト】

しかし、今までの留学生活史上、最も大変だった出来事があった。

このイタリア政治の授業では、中間テストが行われた。授業開始の約一ヶ月後に行われたこのテストは、最初から告知されていたものだったが、他の授業や課外活動と並行してのテスト勉強は、とても大変だった。授業についていくことだけで必死な私にとっては、とても高いハードルだったが、挑戦した。大学の勉強部屋で毎日、授業の合間や授業後の夜遅くまで勉強した。

【テスト当日】

学部授業のテストを受けることは初めてで、テストを受ける前から日本とは異なることばかりだった。今回のテストはオンライン上で行われたが、まずパソコン、キーボードの仕様が違うため、不慣れな私はログインの時点からつまづいた。何とか始まったテストは選択式の問題に加えて、記述式の問いも含まれていた。

結果はボーダーライン以下の低い点数だった。しかし、私としては一点でもとれたこと、いまの実力でやりきった自分に満足していた。授業が始まってから、毎日ずっと勉強する日々が続いていたため、テストが終わって少しは解放される、と思っていた矢先のことだった。

【再試験】

試験終了後最初の授業で、ボーダーラインに及ばなかった学生のための再試験を行うことが教授から発表された。対象となった学生は、私を含めて皆留学生だったが、私以外は英語圏からの学生であったこともあり、次の試験は英語で解答する記述試験になった。私自身も、イタリア語よりも英語で記述する方が慣れているが、しかし私にとっては、どちらも外国語である。教科書や授業の資料はイタリア語で理解して、しかし本番の記述は英語で…ということが、不器用な私にはとても困難に思えた。残された期間は約一週間。再び緊張の、心が休まらない日々が続くこと、そして大きな不安で、とても苦しかった。何のためにこのようなことをやっているのか、学んでいるのか、やめてしまおうか、と何度も思った。しかし、自分ができることをやりきることを決めて、再びたくさん勉強した。

そして、再試験を迎えた。落ちていて、出題された問い全てに解答できた。試験翌日に教授から連絡があり、なんとか合格することができた。

【振り返り】

この試験の日々を振り返ると、できる準備をやって本番に臨めたことが良かった。しかし、外国語で専門分野を学ぶことの難しさ、まだまだ自分は努力をする必要があることを痛感した。今

回は中間試験だったが、最終試験となるともっとハードルがあがる。

不安の多い、不安定な日々だったが、そのなかで、分かることがどんどん増えていたり、知識が関連づけられていたりすることが楽しかった。この期間のおかげで得た知識や教訓はたくさんある。また、周りの方々の励ましのおかげもあり、踏ん張ることができた。

4月はグループ発表を控えているため、またさらにハードルの高いことが待っている。しかし、このようなことができるのも今のうちであるため、悔いのないよう、勉強に取り組んでいく。



試験終了後のジェラート。これがないとやっていけません…(笑)私のお気に入りのはピスタチオ味です！